

中期経営計画“Century 2025” Phase3(2022～2025年度)の進捗

2022年度から中期経営計画“Century 2025”Phase3(2022～2025年度)がスタートしました。

Phase3では、これまでPhase1とPhase2で取り組んできた重点施策を成熟・進化させつつ、

会社の「質」と「信頼」の向上を図るべく新たな施策を追加し、推進しています。

長期ビジョンで掲げる「選ばれる」会社の実現に向け、より一層尽力する三機工業の取り組みの進捗をお伝えします。

Phase3 目標と初年度実績

	Phase3目標 最終2025年度		2022年度 実績	差額
売上高	2,200億円		1,908億円	△292億円
売上総利益(率)	360億円(16.5%)	→	270億円(14.2%)	△90億円(△2.3pt)
経常利益(率)	120億円(5.5%)		62億円(3.3%)	△58億円(△2.2pt)

	Phase3目標 2022～2025年度		2022年度 実績
経常利益率	5.0%以上		3.3%
配当方針	配当性向 50%以上 1株当たり年間配当金 70円以上	→	配当性向 87.4% 1株当たり年間配当金 75円
自己株式取得	500万株程度*		150万株 (計画期間累計150万株)
ROE	8.0%以上		5.1%
成長投資	200億円程度*		32億円(計画期間累計32億円)

※計画期間中の累計

Phase1 「質」を高める

コア事業の強化

要素技術を高め安定成長

成長戦略の推進

未来に向けた技術と領域の成長

三機ブランドの向上

「三機らしい」人財の育成と社会貢献

2016—2018年度

Phase2 「信頼」を高める

「質」へのさらなる追求

- ・施工の生産性向上
- ・省エネ、省力化ニーズへの対応
- ・技術開発の推進
- ・ストック物件の継続受注
- ・働きやすい環境の整備
- ・社内コミュニケーションの向上

財務・資本政策の開示

情報発信力の強化

2019—2021年度

Phase3 「選ばれる」

社会のサステナビリティへの貢献

働き方改革の加速

次世代に向けた投資

2022—2025年度

* Phase2の施策にあった「ESG方針」は、Phase3で「サステナビリティ方針」に進化しました

重点施策の進捗

Phase1から継続する取り組み 「質」を高める施策の成熟・進化

Phase1・Phase2から積み重ねてきた3つの施策について、Phase3でも継続して取り組むことでさらなる「質」の向上を図っています。

施策1 コア事業の強化

建築設備事業

都市部における大型再開発や半導体関連、自動車関連で将来のレガシーとなるライフサイクル・エンジニアリング®案件を多数受注
※建物のライフサイクル全体を担う当社コンセプト

ファシリティシステム事業

スタートアップ企業と連携し、業容拡大に向けた新サービスの開発に着手

プラント設備事業

機械システム事業

物流市場向け新製品の開発・市場投入

環境システム事業

下水処理場向け散気装置「エアロウイング」が世界販売で好業績

施策2 成長戦略の推進

- 「AIごみクレーンシステム」をクリーンヒル天山へ納入
- 環境省「令和4年度デジタル技術を活用した脱炭素型資源循環ビジネスの効果実証事業」へ参画
- オーストラリアの大規模下水処理場で省エネルギー型散気装置を受注
- 国土交通省「令和4年度下水道革新的技術実証事業」のFS*調査に採択
※Feasibility Study：実現可能性調査

施策3 三機ブランドの向上

- 極地(南極)環境保全への継続的な協力
- 新技術探索のための「地球MIRAIプロジェクト」の始動
- 「震災復興プロジェクト」を継続的に推進

Phase2から継続する取り組み 「信頼」を高める施策の成熟・進化

Phase2で掲げた施策について、さらなる企業理解の促進に注力し、これまで以上にステークホルダーからのご理解を得られるよう取り組んでいます。

施策1 財務・資本政策の開示

- ステークホルダーへの安定的・継続的な還元

施策2 情報発信力の強化

- ラッピングバス広告の実施

Phase3からの新たな取り組み 会社の「質」と「信頼」の向上

長期ビジョンの総仕上げとなるPhase3では、将来の持続的成長に向け、新たな施策に取り組んでいます。

施策1 社会のサステナビリティへの貢献

- 「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度の強化
- 三機テクノセンター・大和プロダクトセンターの再生可能エネルギー 電力への切替
- CDPより「Aリスト企業」に認定
- 環境省「生物多様性のための30by30アライアンス」へ参加
- 「三機工業グループ人権方針」の制定・開示

施策2 働き方改革の加速

- 新人事制度の導入(定年を65歳に延長、若手の積極登用、初任給の引き上げ)
- キャリアリターン制度を新たに開始
- 働きやすい環境づくりに向けユニフォームをリニューアル

施策3 次世代に向けた投資

- 4年間累計投資枠200億円から合計約32億円を投資
 - ・BIM推進に向けたM&Aの実施
 - ・大和プロダクトセンター内にクリーンルーム対応製品開発のためのクリーンルーム新設を決定
 - ・人的資本、ICT投資、研究開発投資を将来に向けた投資に位置づけ
 - ・SANKIカーボンニュートラル宣言に基づく脱炭素に向けた設備投資

長期ビジョン
“Century 2025”
ステークホルダーから
もっと「選ばれる」会社の実現

Phase3(2022～2025年度)におけるマテリアリティの施策・指標

マテリアリティ		Phase3(2022～2025年度)におけるKPI	2022年度の実績
脱炭素社会への貢献		● Scope1,2排出量：2020年度比40%減*	● Scope1,2排出量：5.34千t-CO ₂ (2020年度比34%減)
		● Scope3排出量：2020年度比10%減*	● Scope3排出量：3.93百万t-CO ₂ (2020年度比36%減)
		● SANKI YOUエコ貢献ポイントによるCO ₂ 削減量(2018～2020年度3年平均比)：30%増*	● 2018～2020年度3年平均比：97%増
働く仲間の幸福の追求		● 育児休業取得率：男性50%、女性100%	● 男性10.7%(当社独自の休暇制度を含む場合44.6%)、女性100%
		● 女性管理職比率：3.0%(2026年4月)	● 2.5%(2023年4月)
		若手従業員の登用 ● 役職者の平均年齢(2026年4月で2022年4月実績比各1歳減)：課長45.8歳、部長50.2歳、統括部長53.5歳	● 役職者の平均年齢(2023年4月)：課長46.4歳、部長51.8歳、統括部長54.1歳
		● 従業員満足度調査によるモニタリング：「今後も当社グループで働き続けたい」との回答率90%以上の継続	● 未実施(2021年度は91.6%)
		● 2024年度適用の改正労働基準法への対応	● 平均追加勤務時間 施工：42.2時間/人(2021年度比3.9%減) 施工以外：17.4時間/人(2021年度比3.9%減) ● 平均有給休暇取得日数 施工：10.6日/人(2021年度比8.2%増)、施工以外：13.2日/人(2021年度比11.8%増)
		● 人権も含めた企業倫理研修の受講率：100%*	● 企業倫理研修受講率：99%
エンジニアリングを活かした快適環境の構築		● オープンイノベーション活用による研究成果(市場導入)：5件	● 大学・研究機関との共同研究：13件 ● 民間・ベンチャーとの取り組み：19件
		● 「地球MIRAIプロジェクト」探索分野の決定、探索累計：20件/4年間*	● 社内応募：122件(132テーマ)
新たな社会価値の創造		スポーツや芸術分野への支援による社会貢献 ● スポーツ部門：4件/年の継続 ● 芸術部門：2件/年の継続 ● 文化支援活動：1件/年の継続	● スポーツ部門：10件 ● 芸術部門：2件 ● 文化支援活動：1件
安定した収益と経営基盤の強化	建築設備事業	● 重篤災害件数：0件 ● 生産停止を伴うトラブル発生：0件 ● 竣工後5年以内のトラブル・クレーム(TC)の真因分析の実施：100% ● 真因分析結果の報告：4回/年	● 重篤災害件数：0件 ● 生産停止を伴うトラブル発生：0件 ● 竣工後5年以内のTC42件、うち真因分析の実施：71%(30件うち継続12件) ● 品質リスク分科会で4回/年の真因分析結果を報告
		● 防止策を講じ、休業災害ゼロ ● 災害傾向を反映した安全教育資料の作成：東西各ブロック年間2件以上 ● 東西ブロックの交流：年間2回以上	● 休業災害：5件 ● 安全教育資料の作成：東西各ブロック2件 ● 東西ブロックのクロスパトロール：2件
		● 協力会社・協力社員への安全教育実施率：100%	● 協力会社・協力社員への安全教育実施率：100%
		● 施工関連デジタル・ロボット技術の開発件数：5件/年 ● 開発事例導入回数：5件/年	● 2022年度開発テーマ：6件 ● 開発事例導入回数：2件
	ファシリティシステム事業	● 事業本部体制による大型案件への取り組み：対応件数 5件	● 事業本部体制による大型案件への取り組み：対応件数 3件
		● コンサルティング/設備エンジニアリング受注：4億円 ● NeWSICT(Next Work Style with ICT)関連受注：5億円	● コンサルティング/設備エンジニアリング受注：1.4億円 ● NeWSICT関連受注：1.6億円
	機械システム事業	● コンサル関連を契機にしたプロジェクトマネジメント・工事受注：21億円	● コンサル関連を契機にしたプロジェクトマネジメント・工事受注：10.8億円
		● ロボットシステム売上高累計：50億円	● ロボットを活用した設備の提案：14件 ● ロボットシステム売上高：5.5億円
	環境システム事業	● 受注累計：エアロウイング36億円、G3脱水機20台、過給式流動炉2基	● 受注累計：エアロウイング8億円、G3脱水機1台、過給式流動炉0基
		● アクアコンサルト社：売上高12億円達成	● 売上高：13.7億円
	その他	DXやスマイルプラン等による労働生産性の向上 ● 1人当たりの年間労働時間(時間/人・年)：1,951時間(2025年度)	● 1人当たりの年間労働時間：2,015時間/人・年(19時間減、前年度比0.93%減)
		● 次世代に向けた投資(脱炭素技術、自動化・省人化技術、LCE事業、DX)：200億円*	● 計32億円
		● 配当性向：50%以上*	● 配当性向：87.4%
		● 1株当たり年間配当金：70円以上*	● 1株当たり年間配当金：75円
		● Phase3期間内での自己株式取得：500万株程度*	● 150万株取得
		● ROE：8.0%以上*	● ROE：5.1%

*対象範囲：※を付したKPIは三機工業グループ、それ以外は単体